評価規準（第１学年及び第２学年「Ｂ 器械運動　ア　マット運動」）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 単元の評価規準 | ○知識  ・器械運動には多くの「技」があり，これらの技に挑戦し，その技ができる楽しさや喜びを味わうことができることについて，言ったり書き出したりしている。  ・器械運動は，種目に応じて多くの「技」があり，技の出来映えを競うことを楽しむ運動として多くの人々に親しまれてきた成り立ちがあることについて，言ったり書き出したりしている。  ・技の名称は，運動の基本形態を示す名称と，運動の経過における課題を示す名称によって名づけられていることについて，言ったり書き出したりしている。  ・技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあることについて，学習した具体例を挙げている。  ・器械運動は，それぞれの種目や系などにより主として高まる体力要素が異なることについて，学習した具体例を挙げている。  ・発表会には，学習の段階に応じたねらいや行い方があることについて，学習した具体例を挙げている。 | ○技能  【接転技群（背中をマットに接して回転する）】  ・体をマットに順々に接触させて回転するための動き方や回転力を高めるための動き方で， 基本的な技の一連の動きを滑らかにして回ることができる。  ・開始姿勢や終末姿勢，組合せの動きや手の着き方などの条件を変えて回ることができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，一連の動きで回ることができる。  【ほん転技群（手や足の支えで回転する）】  ・全身を支えたり突き放したりするための着手の仕方， 回転力を高めるための動き方， 起き上がりやすくするための動き方で， 基本的な技の一連の動きを滑らかにして回転することができる。  ・開始姿勢や終末姿勢，手の着き方や組合せの動きなどの条件を変えて回転することができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，一連の動きで回転することができる。  【平均立ち技群（バランスをとりながら静止する）】  ・バランスよく姿勢を保つための力の入れ方，バランスの崩れを復元させるための動き方で， 基本的な技の一連の動きを滑らかにして静止することができる。  ・姿勢，体の向きなどの条件を変えて静止することができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，バランスをとり静止することができる。 | ・提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に，仲間の課題や出来映えを伝えている。  ・提供された練習方法から，自己の課題に応じて，技の習得に適した練習方法を選んでいる。  ・学習した安全上の留意点を，他の学習場面に当てはめ，仲間に伝えている。  ・仲間と協力する場面で，分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。  ・体力や技能の程度，性別等の違いを踏まえて，仲間とともに楽しむための練習や発表を行う方法を見付け，仲間に伝えている。 | ・器械運動の学習に積極的に取り組もうとしている。  ・よい技や演技に称賛の声をかけるなど，仲間の努力を認めようとしている。  ・練習の補助をしたり仲間に助言したりして，仲間の学習を援助しようとしている。  ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。  ・健康・安全に留意している。 |

評価規準（第３学年「Ｂ 器械運動　ア　マット運動」）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 単元の評価規準 | ○知識  ・技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあり，同じ系統の技には共通性があることについて，学習した具体例を挙げている。  ・自己の動きや仲間の動き方を分析するには，自己観察と他者観察などの方法があることについて，言ったり書き出したりしている。  ・技と関連させた補助運動や部分練習を取り入れることにより，結果として体力を高めることができることについて，言ったり書き出したりしている。  ・発表会や競技会の行い方があり，発表会での評価方法，競技会での競技方法や採点方法，運営の仕方などがあることについて，学習した具体例を挙げている。 | ○技能  【接転技群（背中をマットに接して回転する）】  ・体をマットに順々に接触させて回転するための動き方， 回転力を高めるための動き方で， 基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて回ることができる。  ・開始姿勢や終末姿勢，組合せの動きや支持の仕方などの条件を変えて回ることができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，一連の動きで回ることができる。  【ほん転技群（手や足の支えで回転する）】  ・全身を支えたり，突き放したりするための着手の仕方， 回転力を高めるための動き方，起き上がりやすくするための動き方で，基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて回転することができる。  ・開始姿勢や終末姿勢，支持の仕方や組合せの動きなどの条件を変えて回転することができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，一連の動きで回転することができる。  【平均立ち技群（バランスをとりながら静止する）】  ・バランスよく姿勢を保つための力の入れ方，バランスの崩れを復元させるための動き方で， 基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて静止することができる。  ・姿勢，体の向きなどの条件を変えて静止することができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，一連の動きで静止することができる。 | ・選択した技の行い方や技の組合せ方について，合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して，成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。  ・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について，自己の考えを伝えている。  ・選択した技に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。  ・健康や安全を確保するために，体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。  ・仲間やグループで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて自己の活動を振り返っている。  ・体力や技能の程度，性別等の違いに配慮して，仲間とともに器械運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。  ・器械運動の学習成果を踏まえて，自己に適した「する，みる，支える，知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。 | ・器械運動の学習に自主的に取り組もうとしている。  ・自己の状況にかかわらず，互いに讃え合おうとしている。  ・仲間に課題を伝え合ったり補助し合ったりして，互いに助け合い教え合おうとしている。  ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。  ・健康・安全を確保している。 |

評価規準（第１学年及び第２学年「Ｂ 器械運動　イ　鉄棒運動」）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 単元の評価規準 | ○知識  ・器械運動には多くの「技」があり，これらの技に挑戦し， その技ができる楽しさや喜びを味わうことができることについて，言ったり書き出したりしている。  ・器械運動は，種目に応じて多くの「技」があり，技の出来映えを競うことを楽しむ運動として多くの人々に親しまれてきた成り立ちがあることについて，言ったり書き出したりしている。  ・技の名称は，運動の基本形態を示す名称と，運動の経過における課題を示す名称によって名づけられていることについて，言ったり書き出したりしている。  ・技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあることについて，学習した具体例を挙げている。  ・器械運動は，それぞれの種目や系などにより主として高まる体力要素が異なることについて，学習した具体例を挙げている。  ・発表会には，学習の段階に応じたねらいや行い方があることについて，学習した具体例を挙げている。 | ○技能  【前方支持回転技群（支持体勢から前方に回転する）】  ・回転の勢いをつくるための動き方，再び支持体勢に戻るために必要な鉄棒の握り直しの仕方で， 基本的な技の一連の動きを滑らかにして前方に回転することができる。  ・開始姿勢や終末姿勢，組合せの動きや鉄棒の握り方などの条件を変えて前方に回転することができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，一連の動きで前方に回転することができる。  【後方支持回転技群（支持体勢から後方に回転する）】  ・回転の勢いをつくるための動き方，バランスよく支持体勢になるための動き方で，基本的な技の一連の動きを滑らかにして後方に回転することができる。  ・開始姿勢や終末姿勢，組合せの動きなどの条件を変えて後方に回転することができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，一連の動きで後方に回転することができる。  【懸垂技群（懸垂体勢で行う）】  ・振動の幅を大きくするための動き方，安定した振動を行うための鉄棒の握り方で， 基本的な技の一連の動きを滑らかにして体を前後に振ることができる。  ・組合せの動きや握り方などの条件を変えて体を前後に振ることができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，ひねったり跳び下りたりすることができる。 | ・提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に，仲間の課題や出来映えを伝えている。  ・提供された練習方法から，自己の課題に応じて，技の習得に適した練習方法を選んでいる。  ・学習した安全上の留意点を，他の学習場面に当てはめ，仲間に伝えている。  ・仲間と協力する場面で，分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。  ・体力や技能の程度，性別等の違いを踏まえて，仲間とともに楽しむための練習や発表を行う方法を見付け，仲間に伝えている。 | ・器械運動の学習に積極的に取り組もうとしている。  ・よい技や演技に称賛の声をかけるなど，仲間の努力を認めようとしている。  ・練習の補助をしたり仲間に助言したりして，仲間の学習を援助しようとしている。  ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。  ・健康・安全に留意している。 |

評価規準（第３学年「Ｂ 器械運動　イ　鉄棒運動」）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 単元の評価規準 | ○知識  ・技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあり， 同じ系統の技には共通性があることについて，学習した具体例を挙げている。  ・自己の動きや仲間の動き方を分析するには， 自己観察と他者観察などの方法があることについて，言ったり書き出したりしている。  ・技と関連させた補助運動や部分練習を取り入れることにより，結果として体力を高めることができることについて，言ったり書き出したりしている。  ・発表会や競技会の行い方があり，発表会での評価方法，競技会での競技方法や採点方法，運営の仕方などがあることについて，学習した具体例を挙げている。 | ○技能  【前方支持回転技群（支持体勢から前方に回転する）】  ・前方に回転の勢いをつくるための動き方，再び支持体勢に戻るために必要な鉄棒の握り直しの仕方で， 基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて前方に回転することができる。  ・開始姿勢や組合せの動き，鉄棒の握り方などの条件を変えて前方に回転することができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，一連の動きで前方に回転することができる。  【後方支持回転技群（支持体勢から後方に回転する）】  ・後方に回転の勢いをつくるための動き方，バランスよく支持体勢になるための動き方で，基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて後方に回転することができる。  ・開始姿勢や終末姿勢，組合せの動きなどの条件を変えて後方に回転することができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，一連の動きで後方に回転することができる。  【懸垂技群（懸垂体勢で行う）】  ・振動の幅を大きくするための動き方，安定した振動を行うための鉄棒の握り方で，学習した基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて体を前後に振ることができる。  ・組合せの動きや握り方などの条件を変えて体を前後に振ることができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，一連の動きでひねったり跳び下りたりすることができる。 | ・選択した技の行い方や技の組合せ方について，合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して，成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。  ・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について，自己の考えを伝えている。  ・選択した技に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。  ・健康や安全を確保するために，体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。  ・仲間やグループで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて自己の活動を振り返っている。  ・体力や技能の程度，性別等の違いに配慮して，仲間とともに器械運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。  ・器械運動の学習成果を踏まえて，自己に適した「する，みる，支える，知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。 | ・器械運動の学習に自主的に取り組もうとしている。  ・自己の状況にかかわらず，互いに讃え合おうとしている。  ・仲間に課題を伝え合ったり補助し合ったりして，互いに助け合い教え合おうとしている。  ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。  ・健康・安全を確保している。 |

評価規準（第１学年及び第２学年「Ｂ 器械運動　ウ　平均台運動」）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 単元の評価規準 | ○知識  ・器械運動には多くの「技」があり，これらの技に挑戦し，その技ができる楽しさや喜びを味わうことができることについて，言ったり書き出したりしている。  ・器械運動は，種目に応じて多くの「技」があり，技の出来映えを競うことを楽しむ運動として多くの人々に親しまれてきた成り立ちがあることについて，言ったり書き出したりしている。  ・技の名称は，運動の基本形態を示す名称と，運動の経過における課題を示す名称によって名づけられていることについて，言ったり書き出したりしている。  ・技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあることについて，学習した具体例を挙げている。  ・器械運動は，それぞれの種目や系などにより主として高まる体力要素が異なることについて，学習した具体例を挙げている。  ・発表会には，学習の段階に応じたねらいや行い方があることについて，学習した具体例を挙げている。 | ○技能  【歩走グループ（台上を歩いたり走ったりして移動する）】  ・台の位置を確認しながら振り出す足の動かし方や重心を乗せバランスよく移動する動き方で，基本的な技の一連の動きを滑らかにして台上を移動することができる。  ・姿勢，動きのリズムなどの条件を変えて台上を移動することができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，台上を移動することができる。  【跳躍グループ（台上へ跳び上がる，台上で跳躍する，台上から跳び下りるなど）】  ・跳び上がるための踏み切りの仕方，空中で姿勢や動きを変化させて安定した着地を行うための動き方で，基本的な技の一連の動きを滑らかにして跳躍することができる。  ・姿勢や組合せの動きなどの条件を変えて跳躍することができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，跳躍することができる。  【ポーズグループ（台上でいろいろな姿勢でポーズをとる）】  ・バランスよく姿勢を保つための力の入れ方，バランスの崩れを復元させるための動き方で， 台上でポーズをとることができる。  ・姿勢などの条件を変えて台上でポーズをとることができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，台上でポーズをとることができる。  ○ ターングループ（台上で方向転換する）  ・バランスよく姿勢を保つための力の入れ方， 回転をコントロールするための動き方で，台上で方向転換することができる。  ・姿勢などの条件を変えて，台上で方向転換することができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，一連の動きで，台上で方向転換することができる。 | ・提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に，仲間の課題や出来映えを伝えている。  ・提供された練習方法から，自己の課題に応じて，技の習得に適した練習方法を選んでいる。  ・学習した安全上の留意点を，他の学習場面に当てはめ，仲間に伝えている。  ・仲間と協力する場面で，分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。  ・体力や技能の程度，性別等の違いを踏まえて，仲間とともに楽しむための練習や発表を行う方法を見付け，仲間に伝えている。 | ・器械運動の学習に積極的に取り組もうとしている。  ・よい技や演技に称賛の声をかけるなど，仲間の努力を認めようとしている。  ・練習の補助をしたり仲間に助言したりして，仲間の学習を援助しようとしている。  ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。  ・健康・安全に留意している。 |

評価規準（第３学年「Ｂ 器械運動　ウ　平均台運動」）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 単元の評価規準 | ○知識  ・技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあり，同じ系統の技には共通性があることについて，学習した具体例を挙げている。  ・自己の動きや仲間の動き方を分析するには，自己観察と他者観察などの方法があることについて，言ったり書き出したりしている。  ・技と関連させた補助運動や部分練習を取り入れることにより，結果として体力を高めることができることについて，言ったり書き出したりしている。  ・発表会や競技会の行い方があり，発表会での評価方法，競技会での競技方法や採点方法，運営の仕方などがあることについて，学習した具体例を挙げている。 | ○技能  【歩走グループ（台上を歩いたり走ったりして移動する）】  ・台の位置を確認しながら振り出す足の動かし方，重心を乗せバランスよく移動する動き方で，基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて移動することができる。  ・姿勢，動きのリズムなどの条件を変えて移動することができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，一連の動きで移動することができる。  【跳躍グループ（台上へ跳び上がる，台上で跳躍する，台上から跳び下りるなど）】  ・跳び上がるための踏み切りの動き方，空中で姿勢や動きを変化させて安定した着地を行うための動き方で，基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて跳躍することができる。  ・姿勢，組合せの動きなどの条件を変えて跳躍することができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，一連の動きで跳躍することができる。  【ポーズグループ（台上でいろいろな姿勢でポーズをとる）】  ・バランスよく姿勢を保つための力の入れ方とバランスの崩れを復元させるための動き方で， 基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させてポーズをとることができる。  ・姿勢の条件を変えてポーズをとることができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，一連の動きでポーズをとることができる。  【ターングループ（台上で方向転換する）】  ・バランスよく姿勢を保つための力の入れ方，回転をコントロールするための動き方で， 基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて方向転換することができる。  ・姿勢の条件を変えて方向転換することができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，一連の動きで方向転換することができる。 | ・選択した技の行い方や技の組合せ方について，合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して，成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。  ・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について，自己の考えを伝えている。  ・選択した技に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。  ・健康や安全を確保するために，体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。  ・仲間やグループで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて自己の活動を振り返っている。  ・体力や技能の程度，性別等の違いに配慮して，仲間とともに器械運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。  ・器械運動の学習成果を踏まえて，自己に適した「する，みる，支える，知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。 | ・器械運動の学習に自主的に取り組もうとしている。  ・自己の状況にかかわらず，互いに讃え合おうとしている。  ・仲間に課題を伝え合ったり補助し合ったりして，互いに助け合い教え合おうとしている。  ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。  ・健康・安全を確保している。 |

評価規準（第１学年及び第２学年「Ｂ 器械運動　エ　跳び箱運動」）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 単元の評価規準 | ○知識  ・器械運動には多くの「技」があり，これらの技に挑戦し，その技ができる楽しさや喜びを味わうことができることについて，言ったり書き出したりしている。  ・器械運動は，種目に応じて多くの「技」があり，技の出来映えを競うことを楽しむ運動として多くの人々に親しまれてきた成り立ちがあることについて，言ったり書き出したりしている。  ・技の名称は，運動の基本形態を示す名称と，運動の経過における課題を示す名称によって名づけられていることについて，言ったり書き出したりしている。  ・技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあることについて，学習した具体例を挙げている。  ・器械運動は，それぞれの種目や系などにより主として高まる体力要素が異なることについて，学習した具体例を挙げている。  ・発表会には，学習の段階に応じたねらいや行い方があることについて，学習した具体例を挙げている。 | ○技能  【切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す）】  ・踏み切りから上体を前方に振り込みながら着手する動き方，突き放しによって直立体勢に戻して着地するための動き方で，基本的な技の一連の動きを滑らかにして跳び越すことができる。  ・着手位置，姿勢などの条件を変えて跳び越すことができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，一連の動きで跳び越すことができる。  【回転跳びグループ（跳び箱上を回転しながら跳び越す）】  ・着手後も前方に回転するための勢いを生み出す踏み切りの動き方，突き放しによって空中に飛び出して着地するための動き方で， 基本的な技の一連の動きを滑らかにして跳び越すことができる。  ・着手位置，姿勢などの条件を変えて跳び越すことができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，一連の動きで跳び越すことができる。 | ・提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に，仲間の課題や出来映えを伝えている。  ・提供された練習方法から，自己の課題に応じて，技の習得に適した練習方法を選んでいる。  ・学習した安全上の留意点を，他の学習場面に当てはめ，仲間に伝えている。  ・仲間と協力する場面で，分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。  ・体力や技能の程度，性別等の違いを踏まえて，仲間とともに楽しむための練習や発表を行う方法を見付け，仲間に伝えている。 | ・器械運動の学習に積極的に取り組もうとしている。  ・よい技や演技に称賛の声をかけるなど，仲間の努力を認めようとしている。  ・練習の補助をしたり仲間に助言したりして，仲間の学習を援助しようとしている。  ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。  ・健康・安全に留意している。 |

評価規準（第３学年「Ｂ 器械運動　エ　跳び箱運動」）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に  取り組む態度 |
| 単元の評価規準 | ○知識  ・技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあり， 同じ系統の技には共通性があることについて，学習した具体例を挙げている。  ・自己の動きや仲間の動き方を分析するには， 自己観察と他者観察などの方法があることについて，言ったり書き出したりしている。  ・技と関連させた補助運動や部分練習を取り入れることにより，結果として体力を高めることができることについて，言ったり書き出したりしている。  ・発表会や競技会の行い方があり，発表会での評価方法，競技会での競技方法や採点方法，運営の仕方などがあることについて，学習した具体例を挙げている。 | ○技能  【切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す）】  ・踏み切りから上体を前方に振り込みながら着手する動き方，突き放しによって直立体勢に戻して着地するための動き方で，基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて跳び越すことができる。  ・着手位置，姿勢などの条件を変えて跳び越すことができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，一連の動きで跳び越すことができる。  【回転跳びグループ（跳び箱上を回転しながら跳び越す）】  ・着手後も前方に回転するための勢いを生み出す踏み切りの動き方，突き放しによって空中に飛び出して着地するための動き方で， 基本的な技の一連の動きを滑らかに安定させて跳び越すことができる。  ・着手位置，姿勢などの条件を変えて跳び越すことができる。  ・学習した基本的な技を発展させて，一連の動きで跳び越すことができる。 | ・選択した技の行い方や技の組合せ方について，合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して，成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。  ・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について，自己の考えを伝えている。  ・選択した技に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。  ・健康や安全を確保するために，体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。  ・仲間やグループで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて自己の活動を振り返っている。  ・体力や技能の程度，性別等の違いに配慮して，仲間とともに器械運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。  ・器械運動の学習成果を踏まえて， 自己に適した「する，みる，支える，知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。 | ・器械運動の学習に自主的に取り組もうとしている。  ・自己の状況にかかわらず，互いに讃え合おうとしている。  ・仲間に課題を伝え合ったり補助し合ったりして，互いに助け合い教え合おうとしている。  ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。  ・健康・安全を確保している。 |